

誠実に・着実に・皆様とともに

西山かずみ

市議会活動報告

会報：第19号

いわき市社会福祉審議会 委員
教育福祉常任委員会 委員
議会運営委員会 委員
議会改革推進検討委員会 委員

ごあいさつ

新年度が始まりました。昨秋の台風被害や新型コロナウイルスの影響などから、全く違った環境下での生活を余儀なくされておられる市民の皆様には、戸惑いの中、不安な日々を送られているものをご推察申し上げます。一日も早い不安払しょくのため、危機管理の体制や正確な情報発信について、より一層チェックをしていかなければならないと考えています。

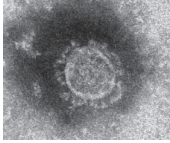
また、議員の資質が問われている昨今、市議としての自覚を持ち、自分を律しながら、市政発展を進めるための議会基本条例が制定されました。

条例制定にかかわった議会改革推進検討委員の一人として、強い覚悟で活動を進めてまいりますので、引き続きのご指導をお願いいたします。



令和2年2月定例会 一般質問15回目の登壇

新型コロナウイルスは、多くの人が集まるところで、感染者のくしゃみや咳などの飛沫と一緒にウイルスが飛び、別の人があるウイルスを口や鼻から吸い込んで感染をする飛沫感染と、感染者がくしゃみや咳を手で押さえ、周りの物に触れることでウイルスが物に付き、別の人がある物に触れることで、その手から口や鼻などの粘膜を通して感染してしまう接触感染の2つが考えられるとのことです。このような感染を防ぐために、市民の皆様一人一人が、最新で正確な感染情報をしっかりと把握できることが大切です。



国立感染症研究所

今回、本市の対応について質問いたしました。

新型コロナウイルス感染に関する本市の相談窓口は

国が示した相談・受信の目安に基づき、風邪症状や37.5度以上の発熱が4日以上、高齢者や基礎疾患などのある方は2日程度続く方、あるいは強いだるさや息苦しさがある方は、保健所内の「帰国者・接触者相談センター」に電話連絡していただき、その他の方は、「一般相談専用ダイヤル」に連絡していただくことになっています。また、受信目安に合致しない場合、かかりつけ医など、一般医療機関を受信していただきます。

帰国者・接触者相談センター 24時間(毎日) ☎0120-567-747

一般相談専用ダイヤル ☎0120-567-177

■平日/8:30~21:00 ■土日祝日/8:30~17:15

妊婦の方や乳幼児を持つ家庭など、特に注意を払わなければならない皆様に向けては、どのような情報発信を行っているのか。

現時点において妊産婦向けとして、日本産婦人科医学会。乳幼児を含めた小児に関して、日本小児科学会のホームページにより情報発信されています。対策としては、インフルエンザ予防と同様、ひとごみを避けること、こまめな手洗いやアルコール消毒、マスクの着用の励行が示されているほか、心配なことはかかりつけ医に、また感染が疑われる場合には各地域の保健所などに相談することなどが示されており、本市としましては、これら情報などを活用しながら、子ども・子育て支援サイトやおやCOCOアプリなどにより、必要な情報を発信していますが、今後も、感染動向などを注視し、適時・適切な情報発信に努めてまいります。



幼稚園や保育所などでの園児への感染症予防の指導は



屋外活動後のうがい・手洗い、食事前やトイレ使用後の手洗いの徹底に努めており、その方法については、保育士などがお手本を示したり、手洗いの場に正しい手の洗い方ポスターを掲示するなど、子供たちがしっかり実践できるよう工夫しながら指導しています。また、保護者に対しては、園だよりや施設内での掲示などを通じ、家庭でも、うがい・手洗いを励行し、十分な睡眠をとるなど、感染症予防に努めるよう注意喚起しています。



本市小・中学校の児童生徒に対し、どのような感染症予防の対策を実施しているのか



本市小・中学校の児童生徒に対する、感染症予防対策について、市教育委員会では、インフルエンザ総合対策の各学校への通知をはじめ、新型コロナウイルスを含めた感染症予防の対応について、各種文書などを通じ、学校や保護者に情報提供しています。各学校では、これらの通知文を踏まえ、教職員間で感染症予防への共通理解を図るとともに、児童生徒に対して、こまめな石鹸手洗いやうがい、咳エチケットの励行、教室の換気、給食前の手指のアルコール消毒などの具体的な指導を行っています。



再質問 市内で、新型コロナウイルス感染者として確定された場合、感染情報をどのように発信するのか。これまでの記者会見を見れば、都道府県知事、または市長が記者会見を行い、性別・職業などの感染者情報を発表しているが、本市はどのように対応するのか。



福島県内で新型コロナウイルス感染者が確認された場合、基本的には、県で公表することとされています。また、これまで感染者が確認された都道府県などでの公表内容は、年代や性別、居住地、職業、症状と経過、渡航歴を含む行動歴などとなっていますが、今後本市で感染者が確認された場合の公表方法や内容については、個々のケースに応じ、事前に関係者の同意を得るなど、患者やご家族の人権やプライバシー保護に十分配慮するとともに、濃厚接触の状況や感染拡大のリスクを総合的に勘案し、その都度判断する必要があります。市としては、県と十分に連携を図りながら、適切に対応したいと考えています。

甚大な被害をもたらす 自然災害への備え

夏井川河口部の治水対策について

夏井川河口部は、平成18年ごろから波浪による堆砂のために河口閉塞が恒常化し、河口開削工事を実施してもすぐに閉塞してしまう状況が続いています。

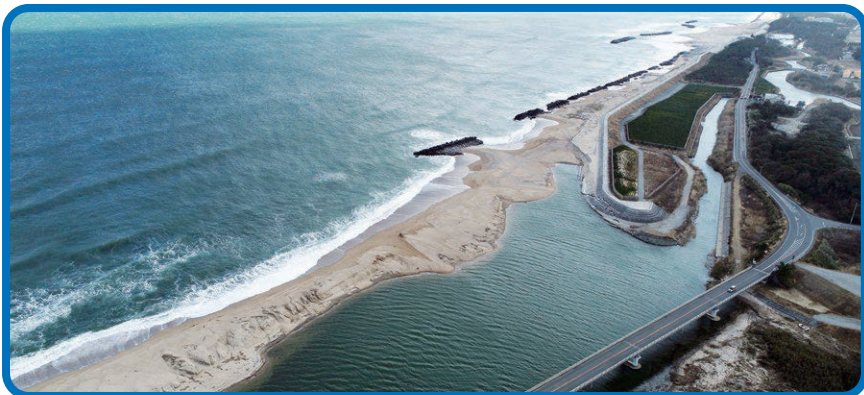
洪水時には、河口付近のみならず夏井川下流域全体に、災害発生のおそれもありますことから、閉塞解消に向けた治水対策の本市の考えについて、あらためて質問いたしました。

これまで抱えてきた河口閉塞による問題点

河口部は、堆砂による河口閉塞が平成18年頃より慢性化している状態で、閉塞による水の流れは、左岸で合流している仁井田川へ逆流し、台風や大雨時には、夏井川の水位上昇に伴い、仁井田川においても高水位の状態が長時間にわたり続き、河川堤防への負担がかかる状態です。

これまでの河口閉塞対応は

県は、平成20年度から試験的に逆流防止策として、仁井田川の閉め切りや、河口部の離岸堤設置などを実施し、台風などの大雨が予想される前に、河口部の堆積土砂を撤去する開削工事を実施していますが、数日で再び閉塞する状況です。



新たな閉塞解消に向けた取組みは

県は、平成29年度に「夏井川河口部治水対策技術検討会」を設置し、国の専門家や学識経験者の意見を取り入れながら検討を重ね、対策工として、支川として夏井川に合流する仁井田川への水門設置や、仁井田川の堤防の嵩上げなどを行うこととし、翌30年度には新規事業化が決定、平成31年3月には、仁井田川の堤防嵩上げ工事に着手しました。

今回の河口部治水対策の効果を市は、どのように捉えているのか

河口部の治水対策の効果については、仁井田川に設置される水門により、大雨時には夏井川本川の流れが海に向かい、閉塞解消が図られ、また、仁井田川の堤防の嵩上げとの一体的な完成により、河口部全体の安全性が高まり、洪水被害軽減の効果が期待されます。

市としては、沿川にお住いの皆様の安全・安心の確保を図るため、引き続き、期成同盟会と連携し、事業が円滑に推進されるよう、取り組みたいと考えています。

流域住民の皆様の安全・安心を確保するため、対策事業の円滑な推進をしっかりと図っていただくよう要望します。



議会改革推進検討委員会において
議会基本条例(案)について会議



議会報告会等について正副議長に報告



前期の政策総務常任委員会開催前の様子



緊急避難地域について質問

あとがき

2月定例会の一般質問が終わって約2ヶ月、新型コロナウイルスの状況は大きく変わっています。市内でも感染者が出ていることから、市民の皆様の予防意識のさらなる向上が求められています。

無理な外出を避けることやマスクや手洗いの励行など、当初から言われている飛沫感染・接触感染への対策をしっかりとすることが大切です。一日も早く沈静化するように、ひとりひとりができることを頑張りましょう。

Afterword

西山かずみ プロフィール

昭和34年9月13日
(いわき市平生まれ)

- 公益財団法人ときわ会 常磐病院 評議員
- 学校法人志向学園 かなや幼稚園 理事
- いわきバレーボール協会 参与
- 中神谷スポーツ少年団 顧問

Profile



https://www.facebook.com/kaz2419



Hatena Blog



nishyamakazumi.hatenablog.com/

経歴

国立福島高専機械工学科卒
アルプス電気(株)東京本社入社
「タウン情報いわき」の(株)アドプラン入社
ときわ会グループ(株)シグマ入社
29才で総合広告代理店(株)デップを起業